

1) 4月1日（火曜日）：天文情報センターにアーカイブ室発足

- * ミッション：「歴史的価値のある天文学に関する資料（観測・測定装置、写真乾板、貴重書・古文書）の保存・整理・活用・公開を行う」
- * 扱う資料の 카테고리：観測・測定装置、写真乾板、記録写真類、動画、公文書、星図、貴重書
- * 中期目標：3～5年、アーカイブリストを作製し、利用者が閲覧・活用できるようにする
- * メンバー：室長：渡部、
室員：専任：中桐、西山、佐々木（天文情報センター分）、
併任：中根、佐藤、小池、松田
オブザーバー：入江、図書室から1人

2) 4月3日（木曜日）：レプソルド子午儀の対物レンズ（口径135mm、焦点距離：2140mm）らしきものを発見、元太陽物理の管理下にあり、旧図書館の戸棚にあった。中桐はこのレンズ検索のために奔走し、天文台0Bに消息を尋ねる手紙を書きまくっていた。



- * 4月4日（金曜日）：発見されたレプソルド子午儀の対物レンズと思われるものを、レプソルド子午儀望遠鏡本体の筒先にあてがって見たところ、取り付けビス穴はぴったりと一致したが、レンズホルダーが鏡筒にぴったりと入り込まず、少し浮いた状態になる。どうやらアダプタリング1個が行方不明になっているようだ。
- * 工場にこのアダプタリングの製作を依頼した。工場長が快く製作を引き受けてくれた。期限は4月いっぱいということにした。

- * このレンズには上下から乾燥剤が入られた蓋が製作しており、非常に保存状態がよかった。
- 3) 4月4日(金曜日) : 自動光電子午環棟の望遠鏡フロアに、展示物の台にするために、廃棄物置き場に捨てられていた会議用デスク 1 個、両袖事務机 6 個を持ち込んだ。
- * 昼休み、廃棄物置き場にあった非常に程度のいい椅子 2 脚を 204 号室に運んだ。204 号室のミーティングテーブルの椅子にちょうどよい
- 4) 4月7日(月曜日) : 元東京天文台教授(天文時部部長) 故虎尾正久氏のご家族が、虎尾教授退官時に東京天文台職員が贈呈した PZT(写真天頂筒)の心中製の模型をもって来て、寄贈して下さった。



- 5) 4月8日 : レプソルド子午儀の鏡筒の左右のバランスウエイト発見、レプソルド子午儀の接眼部近くの右側に小さい目盛環がついていて、左側には同じ台座があるが、何も着いていなかった。今日、レプソルド子午儀室(子午儀資料館)に残っていたものの一つが、この台座に載るバランスウエイトであることを発見した。



とりあえず、ここ 1 週間のニュースを書いてみました。このニュースは随時出していこうと思いますが、まだ中桐の独断でやっています。おいおい体裁を考えます。